

“大正・港ものづくりフェスタ 2018”に参加しました！

8月4日（土）、“ものづくりフェスタ”に今年も参加しました。

昨年から港区と一緒に事業を行うことになりました。通算6回目の開催です。

港区の企業も数社参加されるようになり、出展企業は1回目と比べると格段に増えました。



今年のテーマは「ものづくりのいろは」ということで、ものづくりの原点とといったようなことを、子供たちに感じてもらえればという設えにしようとなりました。

参加会社を4つのグループに分けますが、企業同士もきごころ知った仲になってきたということで、昨年に引き続いてくじ引きでグループ分けをしました。



サブタイトルの「防災」というキーワードも掲げていたので、私たちのグループは災害からの脱出というテーマをゲーム仕立てで行いました。



復興へのシンボリックな道具として、金づち、スコップ、のこぎりのパーツをがれきにみたてた廃材端材の中から見つけ出し、組み立てます。



1番と2番目に勝った組には、VR（仮想現実）を体験してもらいました。協力した抱いたのはプロの方と近畿大学の学生さんたちです。

私も体験させてもらいましたが、むっちゃリアルで驚きでした。



グループでの出し物のほか、私たち山忠木材は毎年、積み木遊びでも出展しています。



他にも、今年の“きごころサロンまつり”のオープニングで披露した「木製カーリング」をゲーム化して午前中のメインアトラクションで遊んでもらいました。



今年の夏は例年にも勝る猛暑酷暑で、正直のところ入場者数は昨年よりも減っていたようです。このイベントだけではなく、他の催しでも同じ現象が起きているようです。

他のグループも出し物に趣向を凝らしていて、暑い中を来場してくれた子供たちが喜んでいました。

各学校の“ものをつくってもらう”ブースには大変人気があったようです。



年間を通して行う「ものづくり事業」の行事の中でも、このイベントは最大のものであります。最初の企画会議からイベント終了後の打ち上げまで、多くの人たちが参加し、前向きに取り組んでいる姿勢には、さわやかさを感じます。

